

投与プロトコール 1コース:28日間 制限なし 《開始時基準 PS:0-2、年齢:18歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考
1,2コース目					
プレメディ(内服)	モンテルカスト10mg(1コースday1のみ全例必須) ^{※1} 抗ヒスタミン剤+解熱鎮痛剤(アセアミノフェン1000mg)		day1	1時間前	※1 1コースday8以降 モンテルカストは任意
			day1,8,15,22	1時間前	
内服	レナデックス錠:20mg/body/日 ^{※3}	mg	day 1,2,8,9,15,16,22,23	1日 1回 ※2	※2 レナデックス (ダラキューロ投与日)は、 ダラキューロ投与の1時間前 に投与
プレメディおよびレナデックス投与後1時間経過して、ダラキューロの投与を開始する					
①	ダラキューロ:1800mg/body	mg	day1,8,15,22	皮下 注射	3~5分かけて投与
内服	レブラミド:25mg/body/日	mg	day1-21	1日1回	眠前
3~6コース目					
プレメディ(内服)	抗ヒスタミン剤+解熱鎮痛剤(アセアミノフェン1000mg) ^{※1}		day1,15	1時間前	※1 1コースday8以降 モンテルカストは任意
			day 1,2,8,9,15,16,22,23	1日 1回 ※2	
内服	レナデックス錠:20mg/body/日 ^{※3}	mg	day 1,2,8,9,15,16,22,23	1日 1回 ※2	※2 レナデックス (ダラキューロ投与日)は、 ダラキューロ投与の1時間前 に投与
プレメディおよびレナデックス投与後1時間経過して、ダラキューロの投与を開始する					
①	ダラキューロ:1800mg/body	mg	day1,15	皮下 注射	3~5分かけて投与
内服	レブラミド:25mg/body/日	mg	day1-21	1日1回	眠前
7コース目以降					
プレメディ(内服)	抗ヒスタミン剤+解熱鎮痛剤(アセアミノフェン1000mg) ^{※1}		day1	1時間前	※1 1コースday8以降 モンテルカストは任意
			day 1,2,8,9,15,16,22,23	1日 1回 ※2	
内服	レナデックス錠:20mg/body/日 ^{※3}	mg	day 1,2,8,9,15,16,22,23	1日 1回 ※2	※2 レナデックス (ダラキューロ投与日)は、 ダラキューロ投与の1時間前 に投与
プレメディおよびレナデックス投与後1時間経過して、ダラキューロの投与を開始する					
①	ダラキューロ:1800mg/body	mg	day1	皮下 注射	3~5分かけて投与
内服	レブラミド:25mg/body/日	mg	day1-21	1日1回	眠前

※3 75歳を超える又は過少体重(BMI:18.5kg/m²未満)の患者にはレナデックスを20mg/週で投与することを可とし、その場合は、ダラキューロ投与前にレナデックス20mgを投与とする。

◆ダラキューロによるinfusion reactionを軽減させるために、投与開始1~3時間前に副腎皮質ホルモン、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤を投与すること。(当院の運用としては、前投薬およびレナデックスの投与は1時間前を基本とする)

また、遅発性のinfusion reactionを軽減させるために、必要に応じてダラキューロ投与後に副腎皮質ホルモン等を投与すること。

◆慢性閉塞性肺疾患若しくは気管支喘息のある患者又はそれらの既往歴のある患者では、ダラキューロ投与後に遅発性を含む気管支痙攣の発現リスクが高くなるおそれがある。

ダラキューロの投与後処置として気管支拡張薬及び吸入ステロイド薬の投与を考慮すること。